

## 2016 年度事業計画

### 1. 総務委員会

総務委員会は、理事会の下で各委員会と協力して学会活動を円滑に進めて行きます。今年度の主要な活動計画は以下の通りです。

#### 1) 財政

収入の維持・増加のために、会員増強活動を行います。また、事業内容の見直しも含め、財政の健全化を実施します。

#### 2) 会員増強

関連委員会との協力の下に会員増強を進めます。春季、秋季の信頼性シンポジウム、フォーラム、見学会、研究会等の活動を活発に行い、本学会の存在を広く認知させます。

#### 3) 法人格取得の準備

引き続き法人化への移行に鑑み、各事業の会計等の適正化への取り組みを監視するとともに、会計等の細目について、改善の必要性の検討作業を進めます。

#### 4) フォーラムおよび見学会の実施

会員のニーズに沿う、かつ新規会員の獲得に貢献できるような本部主催の見学会を実施します。

#### 5) 関係学会等との協力

経営工学関連学会協議会 (FMES) 第 32 回シンポジウムが、2016 年度に開催される予定です。本学会は幹事学会として、シンポジウムの企画および運営を担当いたします。安全工学シンポジウム 2016 の開催および横幹連合の活動に例年通り積極的に協力します。

#### 6) 国際協力

2016 年 7 月に中国・四川省にて開催の、6th International Conference on Quality, Reliability, Risk, Maintenance, and Safety Engineering (QR2MSE 2016) に協賛いたします。本学会副会長の土肥正氏が General Co-Chair, 鈴木和幸氏, 山本久志氏, および Won Young Yun 氏が International Advisory Committee Members, 早川有氏, 肖霄氏, および山本久志氏が Program Committee Members として参画し、国際会議の盛会に向けて支援いたします。

2016 年 10 月に中国・杭州で開催予定の第 11 回 ICRMS (International Conference on Reliability, Maintainability and Safety) に関して、鈴木和幸氏が General Co-Chair として参画し、国際会議の盛会に向けて支援いたします。

また、対外活動の推進と会員への適切な情報提供に資するべく、国際協力に関して、活動の内容や方向性を検討いたします。

### 2. 広報委員会

会員の方へのサービス向上を目的として、以下の内容について取り組んでまいります。

#### 1) ウェブ会議利用の拡大

2015 年度のウェブ会議システム試用の成果を受けて、フォーラム等の学会活動の複数拠点開催に取り組んでいきます。これにより、学会本部主催行事への参加者増を目

指します。

また、研究会活動での利用にも、開催拠点の関係で、参加を控えていた会員の参加者増を目指して、利用範囲の拡大に務めます。

## 2) 学会ホームページ操作性の向上と内容の充実化

学会誌「信頼性」については、電子化により紙面配送が行われなくなった場合、学会ホームページの会員専用ページからの閲覧が原則となります。このため、会誌閲覧が煩わしくなることの無いように、ホームページの内容の見直しを進めていきます。

## 3. 編集委員会

1) 編集委員会で検討した 2016 年度の年間計画（案）を下表に示します。6 号の学会誌と 6 回の信頼性ニュース（学会ホームページにて公開）を発行の予定です。

2) 学会誌の電子版による発刊に関しては、2017 年 1 月号から完全実施する予定です。以降は以下のようになります。

- ・これまでの学会誌（印刷物）の会員への配送は取り止め、全面的に学会ホームページ上へのアップロードに切り替わります。
- ・学会ホームページ上の学会誌の目次は、現在と同様、会員および会員外双方が閲覧可能です。
- ・会員は、学会誌の内容を閲覧およびダウンロードすることが可能です。ダウンロードは、記事毎でも一括でも可能とします。
- ・現在学会誌に掲載している査読論文については、新たに会員外でもアブストラクトの閲覧が可能となります。
- ・会員外の方へは、有料で学会誌の販売を行います。その際、査読論文については論文毎に、またそれ以外の記事に関しては一括して販売します。

3) 引き続き、学会誌を専門外の会員にも判り易い記述内容で編集することをめざし、易しい記述・見やすい記載・話題となるテーマなど、内容をこれまで以上に充実させることで学会員の皆様へのサービス向上を図ります。

発行年	発行月	種 類	テ ー マ	
2016 年	4 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】	
	5 月号	展望	X 線を利用した解析手法	
	6 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】	
	7 月号	展望	医療・生体分野での情報技術と信頼性	
	8 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】	
	9 月号	展望	社会基盤システムの信頼性・安全性	
	10 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】	
	11 月号	展望	信頼性モデル研究の最新動向	
	12 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】	
	2017 年	1 月号	展望	検討中
		2 月号	ニュース	信頼性ニュース【ホームページに掲載】
		3 月号	展望	検討中

#### 4. 論文審査委員会

引き続き、掲載論文数の増加とともに、投稿論文審査のさらなるスピード化と質の向上を目指して取り組みます。

- 1) 掲載論文数の増加を実現し、信頼性学会誌からより多くの情報発信を目指します。  
2016年度は5件以上の論文掲載を目標といたします。
- 2) 研究分野の拡大に対応して、より多くの論文が投稿されるように引き続き検討します。
- 3) 上記目標の達成のため、ショートノート、ケーススタディを活用した情報発信体制の改善、論文審査体制の見直しを実施し、必要に応じて投稿規定等の改正を行います。
- 4) 投稿論文作成と審査の質の向上のため、論文作成に役立つ情報や、審査の心得に関する情報の準備、発信を行います。
- 5) 高木賞候補論文の選考を行います。

#### 5. シンポジウム実行委員会

第24回春季信頼性シンポジウム開催準備と運営のために委員会を2回、第29回秋季信頼性シンポジウム開催準備と運営のために委員会を2回開催し、プログラムの編成等を行う予定です。

また、シンポジウム当日は、運営及びセッションの司会を務めます。

- 1) 第24回春季信頼性シンポジウム  
日時：2016年5月23日（月）  
場所：一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル
- 2) 第29回秋季信頼性シンポジウム  
日時：2016年11月24日（木）  
場所：一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル

発表論文の募集要項等は例年に準じます。詳細は後日決定次第、お知らせします。

#### 6. 研究会運営委員会

研究会活動の活性化・健全化を引き続き進めていきます。そのために、学会ホームページや学会誌などで、各研究会の開催案内や活動状況を紹介します。また、新たな研究会の立ち上げを呼びかけます。合同研究会開催などでウェブ会議システムの活用を促進します。活動成果の発信方法として、新たにフォーラムやセミナー開催などを検討予定です。日本信頼性学会の著作権規定との整合性を確保した研究会資料の著作権検討、学会法人化を見据えた調査検討などを継続します。それらを研究会運営委員会の内規・細則などに反映することで、研究会活動の基盤強化や統一化を目指します。

各研究会の活動計画を以下に記します。

- 1) IEC ディペンダビリティ規格研究会（主査：山内慎二氏）
  - (1) IEC 60300-3-12(Ed.2) : Integrated logistic support(ILS)の研究を継続します。
    - ① 標記規格の要約を実施し、研究発表の基礎資料を作成します。（完了予定：平成29年3月）。
    - ② 関連規格 IEC 60300-3-14 及び IEC 60300-3-16 の調査を並行して進めます。

- (2) IEC 62508, Guidance on human aspects of dependability の審議を進めます。
- (3) JIS 原案作成委員会及び IEC/TC56 信頼性専門委員会への協力を継続します。
- (4) 研究結果の発表

2016 年度以降に発表を予定：仮題「国際規格 IEC 60300-3-12 (ILS)について」。

- (5) 補足事項

- ・研究会の開催：会合は月 1 回 (18:30-21:00)，年度合計 12 回を予定してします。

## 2) 情報システム信頼性研究会 (主査：松尾谷徹氏)

年間 2 回の開催 (上期，下期) を予定しています。日程の詳細未定は未定です。

内容については、「AI 技術を用いた情報システムの信頼性」をテーマに最新技術について進めて行きます。主なテーマ案は以下の通りです。

- SAT/SMT ソルバーの活用技術
- Symbolic Execution / ConcolicTesting の状態遷移へ応用技術
- データマイニング/テキストマイニングの応用技術
- 情報システムの信頼性を支えるエンジニア育成に関する研究

## 3) 信頼性試験研究会 (主査：松岡敏成氏)

### (1) 定期研究会

- ① 会場：日科技連大阪事務所研修室 他
- ② 期日：偶数月の第 2 金曜日を原則とします。

(2016 年 4 月は 22 日に大阪中央電気倶楽部にて開催済)

### (2) 研究テーマ

#### 2-1 大テーマ「数と時間の壁への挑戦」

効率的、効果的な信頼性試験計画と結果の解析

#### 2-2 具体的活動計画

- ① 確率モデルを適用した信頼度予測
  - ・数少ない市場の故障データに基づくその後の発生予測
  - ・設計寿命過ぎても市場で稼働しているシステムの余寿命診断と保守の考え方
- ② 故障の予兆現象をとらえる信頼性試験計画
  - ・寿命の代用特性の非破壊検査結果を適用した劣化をとらえた寿命予測
- ③ 品質保証のための信頼性試験計画

## 4) 要素技術安全研究会 (主査：川島興氏)

### (1) 活動内容

- ① 2015 年度までの研究成果をふまえ、各産業分野に展開される機能安全規格を分析することで、機能安全規格全体の動向及び課題を把握します。
  - ・機能安全を意図した IEC, ISO 規格の制定状況及びその要求事項の調査
- ② 機能安全に限定せず、安全に関するトピックスを題材としたディスカッションを行い知見を広める。

### (2) 研究会開催予定

5回（5月，7月，9月，11月，1月）を予定しています。

#### 5) 故障物性研究会（主査：土屋 英晴）

前年度と同様，例会を年間6回（原則，偶数月金曜日，13時～17時）開催する予定です。会員と研究会の成長が継続的に進むよう研究会の方向付けを適切に行い，更に大きな成果につなげることを目指します。そのために，特に下記を重点的に実施します。

- ① 会員の意思を尊重して，現場で起きている故障や製品事故の中から時流に相応しい研究テーマを創出し活動することを目指します。
- ② プログラム委員会や分科会の活動などを強化し，研究を深掘りします。
- ③ 「信頼性学会ホームページ：故障物性研究会専用サイト」の運用効率を高め，資料の共有化と活用を促進します。
- ④ 成果の一部を外部に公開し，広報するとともに新たな情報収集や会員募集に努めます。具体的には，日科技連「信頼性・保全性シンポジウム」や信頼性学会「信頼性シンポジウム」で発表予定です。また，近年の研究成果を文書化し，信頼性学会「フォーラム」の開催などを目指します。体系的にまとめた書籍の発表準備を継続します。

#### 6) LSI 故障解析研究会（主査：二川清氏）

2016年度は前年度と同様，年2回程度，研究会を開催する予定です。

#### 7) Lcc（Life Cycle Costing）研究会（主査：門奈哲也氏）

##### （1）研究会

原則として年に4回，金曜日の18:00～20:00を定例研究会とし，日本科学技術連盟の会議室を利用し開催を継続いたします。

##### （2）活動内容

- ・企業のLcc導入実態アンケート調査のまとめと報告
- ・国際規格の改訂に関する支援（IEC/TC 56/WG 3への支援）
- ・企業等からの問い合わせに対する支援と情報収集

#### 8) 機能の安定性と安全研究会（主査：柴田義文氏）

（1）研究会 年8回以上，開催します。

（2）研究発表 日本信頼性学会をはじめとした他学会への発表を3回以上行います。

（3）啓蒙 本の出版や，セミナーを開催いたします。

### 7. 表彰委員会

本年度も表彰委員会を開催し，以下を審議します。

1) 2016年1月号から2016年12月号の間に学会誌「信頼性」に掲載された論文の中から，高木賞を選定するための審議を実施します。

2) 第24回春季信頼性シンポジウム（5月23日）と第29回秋季信頼性シンポジウム（11月24日）における発表論文の中から，優秀賞2件と若手奨励賞2名を選定するための審議を行います。

3) 2016年1月号から2016年12月号の間に「信頼性」に掲載された論文以外の記事の中から、優秀記事コラム賞を選定するための審議を実施します。

## 8. 関西支部

信頼性に関する現状および将来の展望を探究することを目的とし、講演会（3回程度）および見学会（3回程度）、さらにフォーラム（1回）と研究発表会（電子情報通信学会 信頼性研究会との共催）を行う予定である。ただし、フォーラムに関しては講演会を含め、会場参加者とのディスカッションが活発に行われるように努めます。

なお、参加人数の目標として講演会30名程度、見学会20名程度とします。また、研究発表会の発表者も信頼性学会会員が増えるように努めます。

## 9. 本年度の主な事業の予定（再掲）

- 1) 第38回年次総会 2016年5月23日（月）
- 2) 第24回春季信頼性シンポジウム 2016年5月23日（月）
- 3) 第29回秋季信頼性シンポジウム 2016年11月24日（木）
- 4) フォーラム2回、見学会2回
- 5) 各研究会
- 6) 関西支部行事

開催日や内容については、学会誌・信頼性ニュース及びホームページに掲載します。